

鋁工業指數參考図表集
(2019年6月速報)

2019年7月30日

經濟解析室

URL : <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

2019年6月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

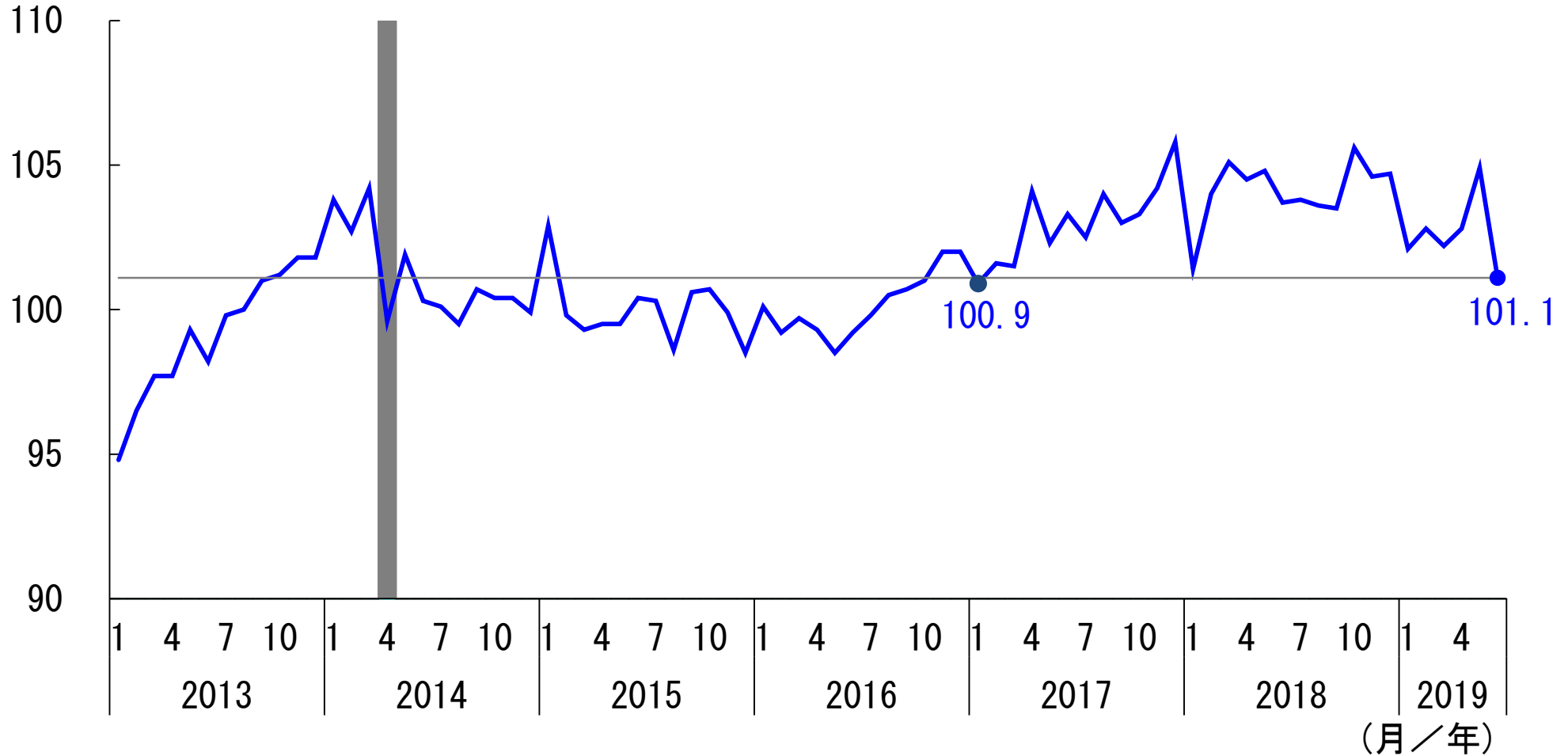
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	101.1	100.6	104.6	109.4
前月比	-3.6%	-3.3%	0.3%	2.8%
指数水準	2017. 1 100. 9以来 ①2013. 1 94. 8 ②2013. 2 96. 5 ③2013. 3, 4 97. 7	2019. 1 100. 6以来 (超)2017. 10 100. 5以来 ①2013. 1 96. 9 ②2013. 2 97. 6 ③2015. 12 98. 3	2015年基準最高水準 I 2019. 6 104. 6 II 2019. 5 104. 3 III 2019. 3, 4 103. 8	2015年基準最高水準 I 2019. 6 109. 4 II 2018. 12, 2019. 3 107. 2 III 2019. 5 106. 4
前月比の動き	3か月ぶり－ (2019.3以来)	3か月ぶり－ (2019.3以来)	2か月連続＋ (2019.5～当月)	2か月連続＋ (2019.5～当月)
前月比幅	2018. 1 -4. 2%以来 ①2014. 4 -4. 4% ②2018. 1 -4. 2% ③2019. 6 -3. 6%	2018. 1 -4. 5%以来 ①2014. 4 -6. 0% ②2018. 1 -4. 5% ③2015. 2, 2019. 6 -3. 3%	2019. 5 0. 5%以来 I 2017. 10 2. 9% II 2018. 3 2. 6% III 2014. 5 2. 4%	2018. 1 3. 4%以来 I 2014. 4 7. 4% II 2017. 10 4. 4% III 2018. 1 3. 4%
前年同月比(原指数)	-4.1%(101.2)	-4.2%(100.2)	2.9%(104.9)	6.3%(110.5)
前年同月比の動き	5か月連続－ (2019.2～当月)	7か月連続－ (2018.12～当月)	8か月連続＋ (2018.11～当月)	7か月連続＋ (2018.12～当月)
前年同月比幅	2019. 3 -4. 3%以来 ①2015. 5 -5. 1% ②2019. 3 -4. 3% ③2016. 1 -4. 2%	2016. 1 -4. 7%以来 ①2014. 11 -5. 3% ②2016. 1 -4. 7% ③2019. 6 -4. 2%	2018. 9 3. 5%以来 I 2014. 11 7. 0% II 2014. 12 5. 9% III 2014. 8 5. 5%	2018. 12 7. 4%以来 I 2014. 11 13. 2% II 2015. 3 10. 4% III 2014. 8 8. 9%

1) I～IIIは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

- ・ 2019年6月の鋳工業生産指数は、101.1(前月比-3.6%)と3か月ぶりの低下。
- ・ 2017年1月の100.9以来の指数水準。

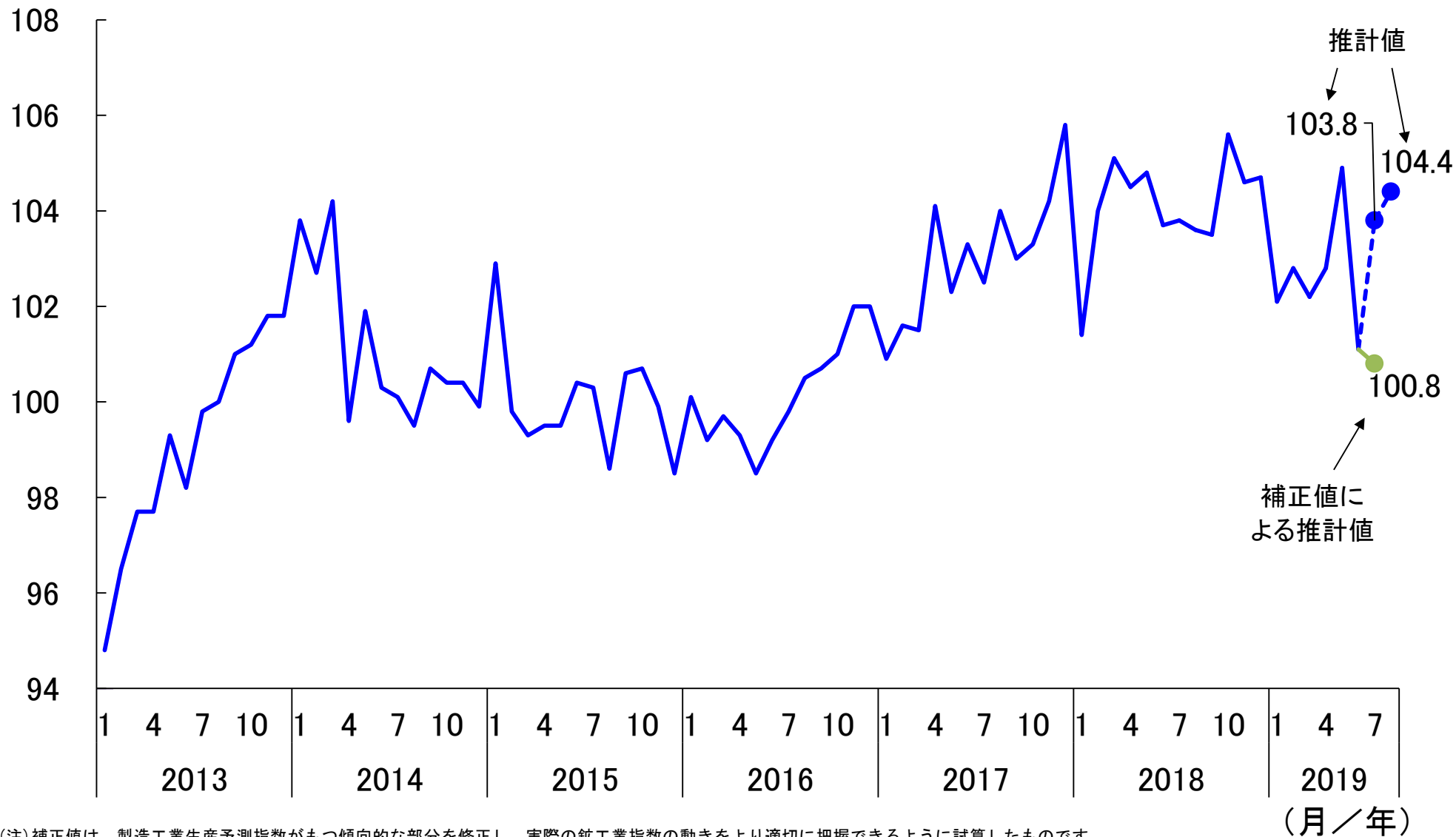
(2015年=100、季節調整済)



(注)1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、2015年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

(2015年=100、季節調整済)



(注)補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるように試算したものです。

2019年6月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っぱり張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	無機・有機化学工業	3.2%	4.1%
	品目	プラスチック	5.7%	2.2%
		石油化学系基礎製品	3.3%	1.0%
	2位の業種	石油・石炭製品工業	4.5%	1.3%
	品目	石油製品	4.4%	1.2%
		石炭製品	3.3%	0.0%
3位の業種	—	—	—	
品目	—	—	—	
鉱工業生産を低下方向へ引っぱり張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	自動車工業	-8.8%	-41.5%
	品目	乗用車	-9.2%	-21.5%
		車体・自動車部品	-9.2%	-17.0%
	2位の業種	生産用機械工業	-6.9%	-14.7%
	品目	金属加工機械	-19.5%	-6.4%
		半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置	-9.3%	-5.1%
3位の業種	電気・情報通信機械工業	-4.7%	-10.8%	
品目	情報端末装置	-18.5%	-2.6%	
	電子計算機	-12.3%	-2.3%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

2019年6月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目(全体・財別)

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向に引っ張った3品目	1位	ボイラ・原動機	24.1%	5.3%
	2位	電子デバイス	21.6%	4.4%
	3位	プラスチック	5.7%	2.2%
鉱工業生産を低下方向に引っ張った3品目	1位	乗用車	-9.2%	-21.5%
	2位	車体・自動車部品	-9.2%	-17.0%
	3位	金属加工機械	-19.5%	-6.4%

<財別＝用途別>

	解説	品目名	前月比	寄与率
建設財	鉄骨やセメントなど建設投資に向けられる製品	建設財	-2.9%	-4.6%
		アルミニウム製建具	-6.6%	-1.0%
		ガス温水給湯暖房機・風呂がま	-10.6%	-0.6%
非耐久消費財	食料品や衣料品など家計で購入される製品	非耐久消費財	-1.3%	-6.1%
		乳液・化粧水類	-5.1%	-1.4%
		日焼け止め・日焼け用化粧品	-27.7%	-1.3%
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送用)	-4.6%	-17.3%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-28.5%	-3.9%
		機械プレス	-51.8%	-2.6%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など家計で購入される製品	耐久消費財	-8.9%	-23.8%
		普通乗用車	-9.0%	-13.9%
		軽乗用車	-15.0%	-3.0%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-2.4%	-32.5%
		駆動伝導・操縦装置部品	-10.6%	-6.8%
		自動車用エンジン	-10.3%	-5.2%

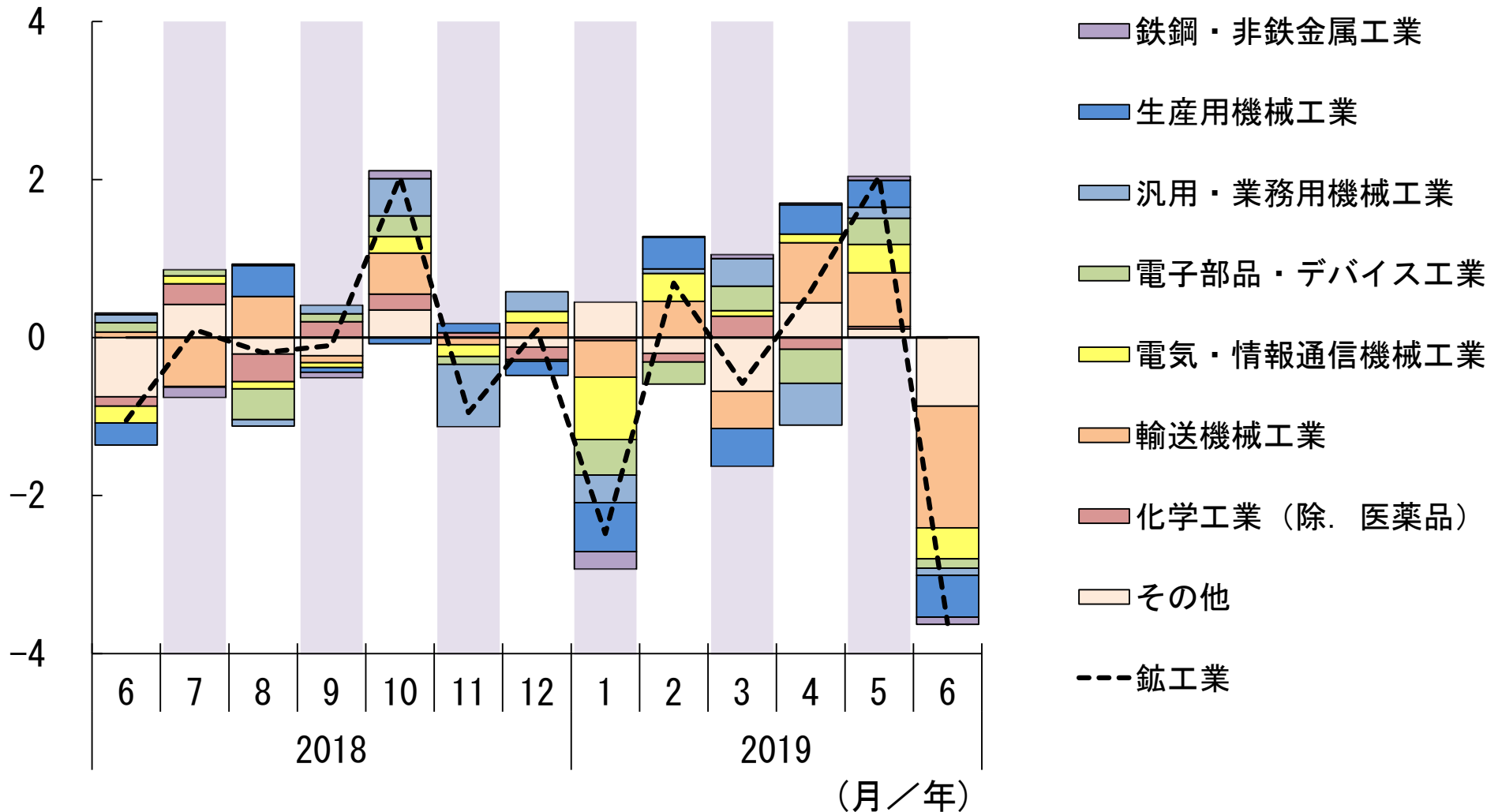
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全116業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鉱工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 2019年6月の生産指数は、化学工業（除. 医薬品）が上昇したものの、輸送機械工業などが低下したため、前月比-3.6%の低下。

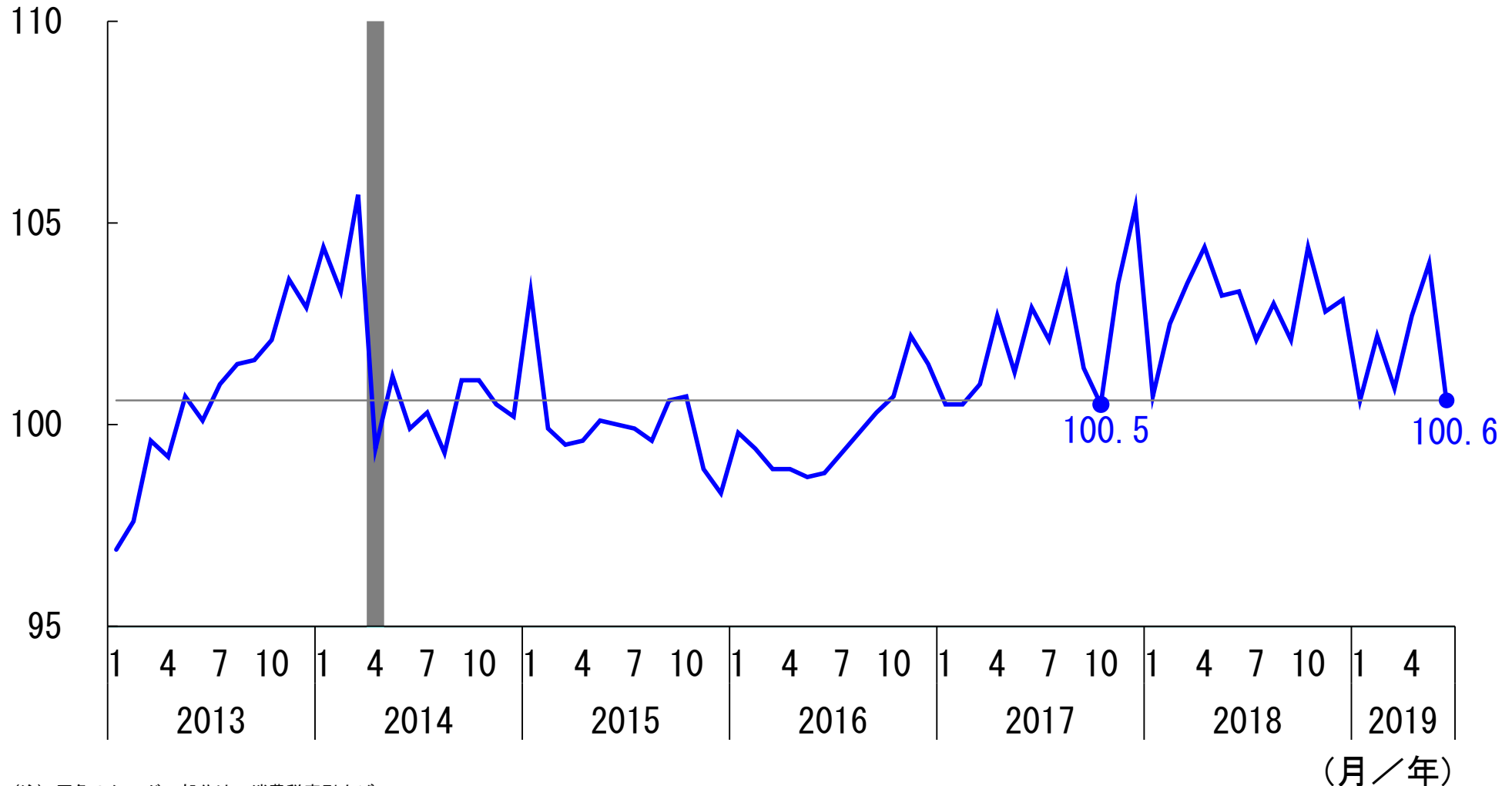
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- ・ 2019年6月の鋳工業出荷指数は、100.6(前月比-3.3%)と3か月ぶりの低下。
- ・ 2017年10月の100.5以来の指数水準(2019年1月と同水準)。

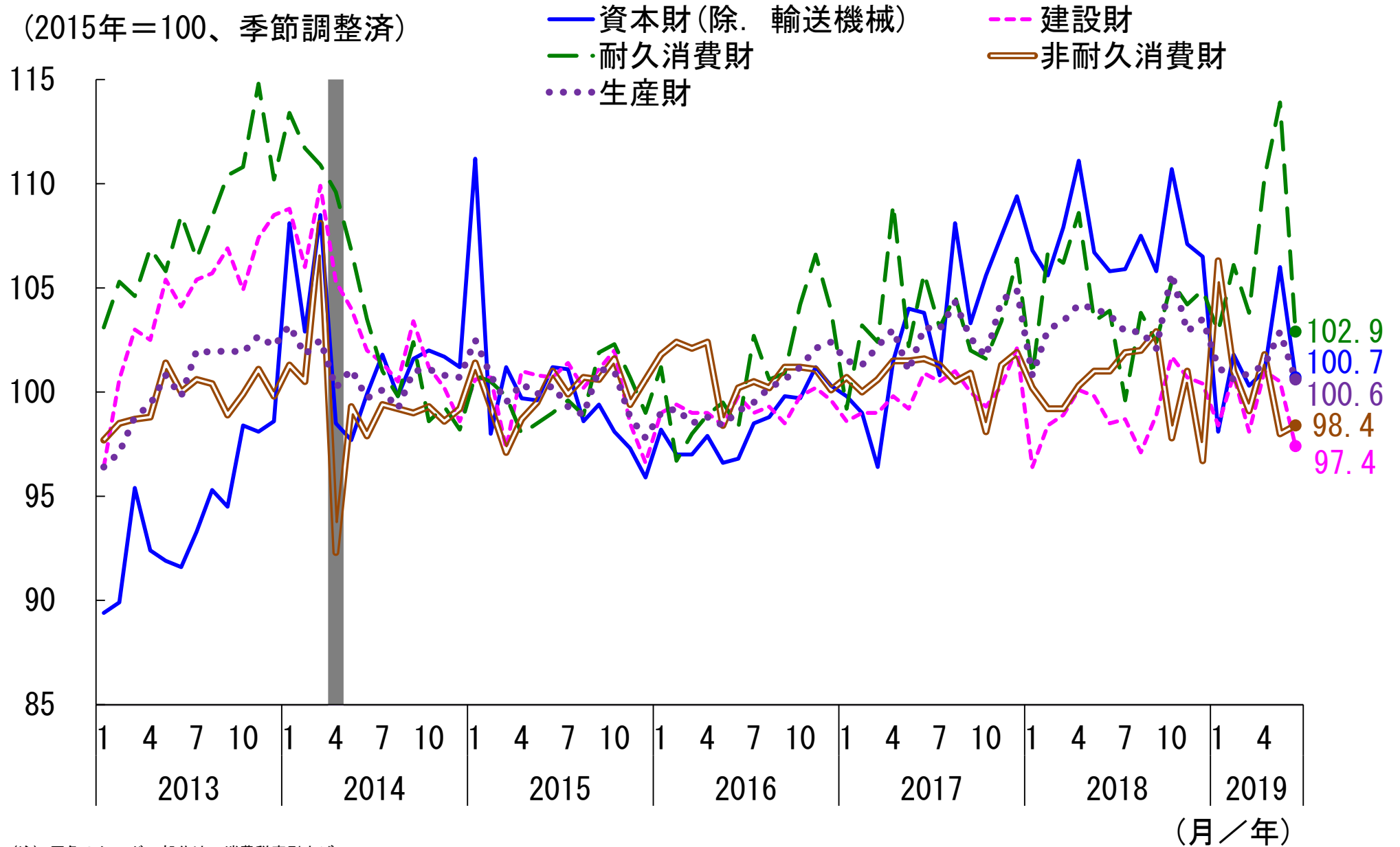
(2015年=100、季節調整済)



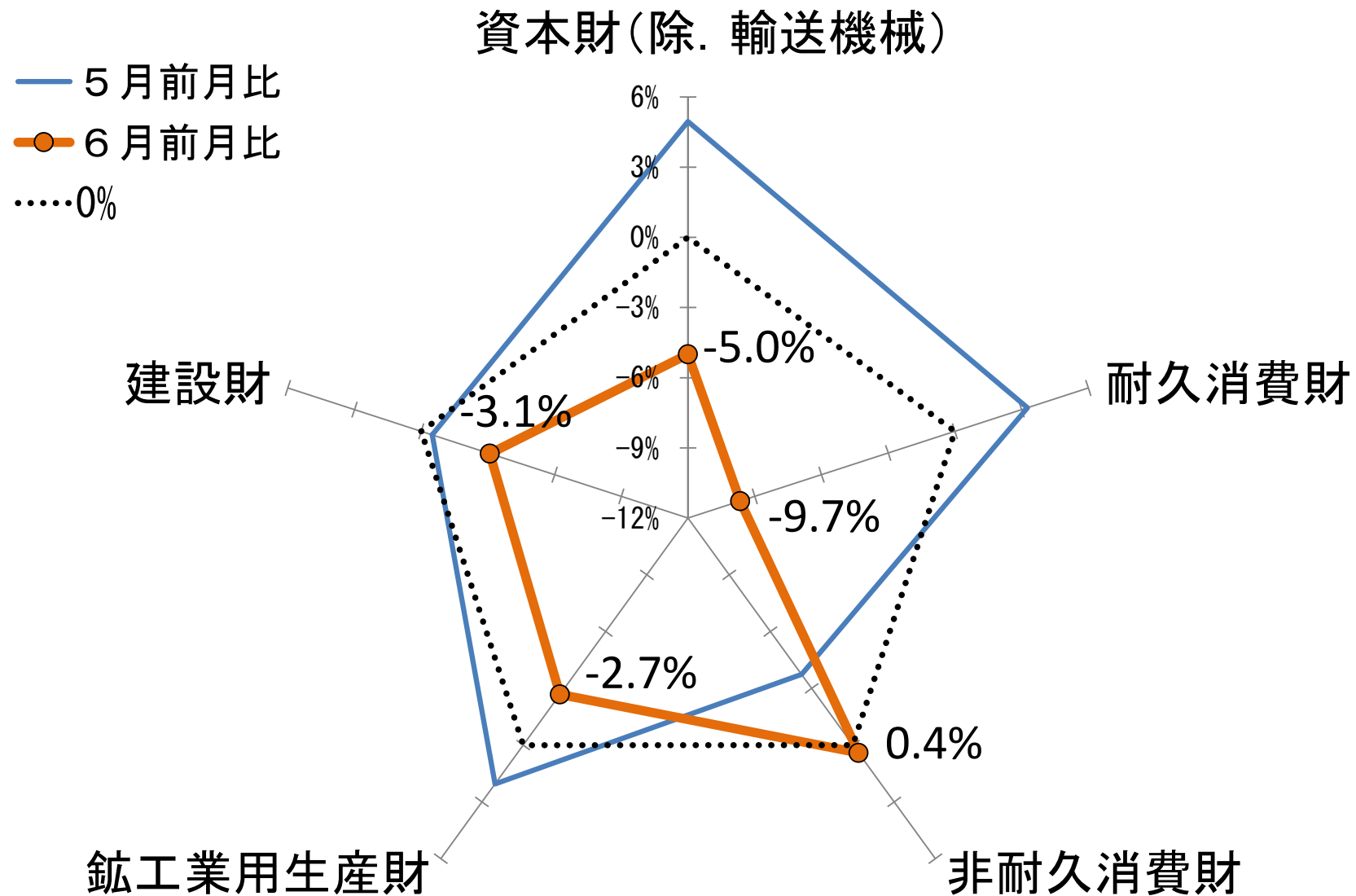
(注) 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の動向

(2015年=100、季節調整済)



財別出荷指数の前月比比較（2019年5月、6月）



2019年6月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

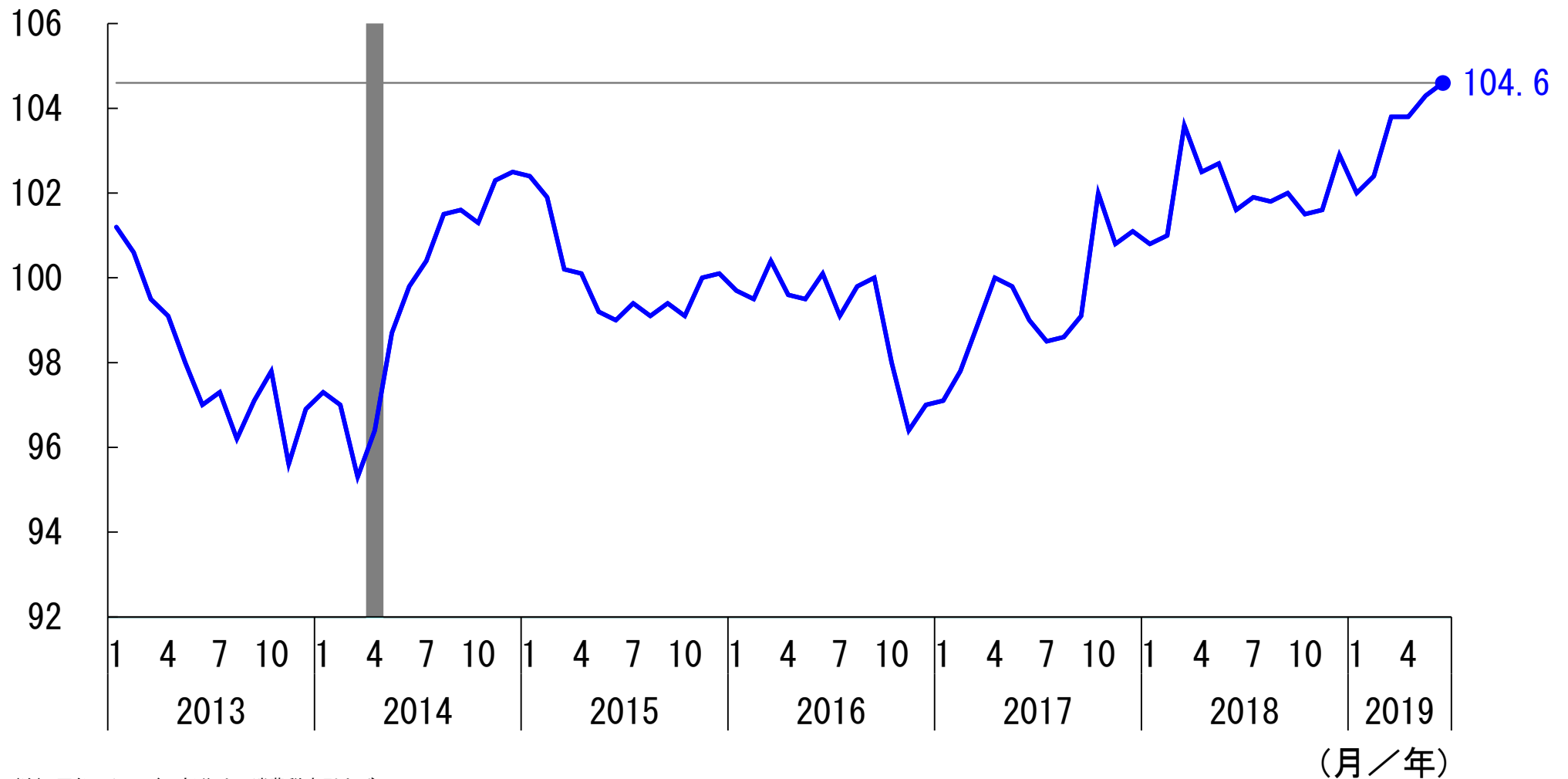
	解説	品目名	前月比	寄与率
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.4%	1.9%
		灯油	23.5%	1.5%
		乳幼児用紙おむつ	23.9%	0.8%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	-3.1%	-5.1%
		アルミニウム製建具	-4.8%	-0.8%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送用）	-5.0%	-18.0%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-28.0%	-4.1%
		ショベル系掘削機械	-8.0%	-3.2%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	-9.7%	-32.5%
		普通乗用車	-7.1%	-13.9%
		小型乗用車	-9.9%	-4.1%
生産財	原材料として投入される製品	生産財	-2.2%	-35.4%
		駆動伝導・操縦装置部品	-10.7%	-7.1%
		自動車用エンジン	-11.1%	-5.8%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

- ・ 2019年6月の在庫指数は、104.6(前月比0.3%)と2か月連続の上昇。
- ・ 2015年基準での最高水準。

(2015年=100、季節調整済)

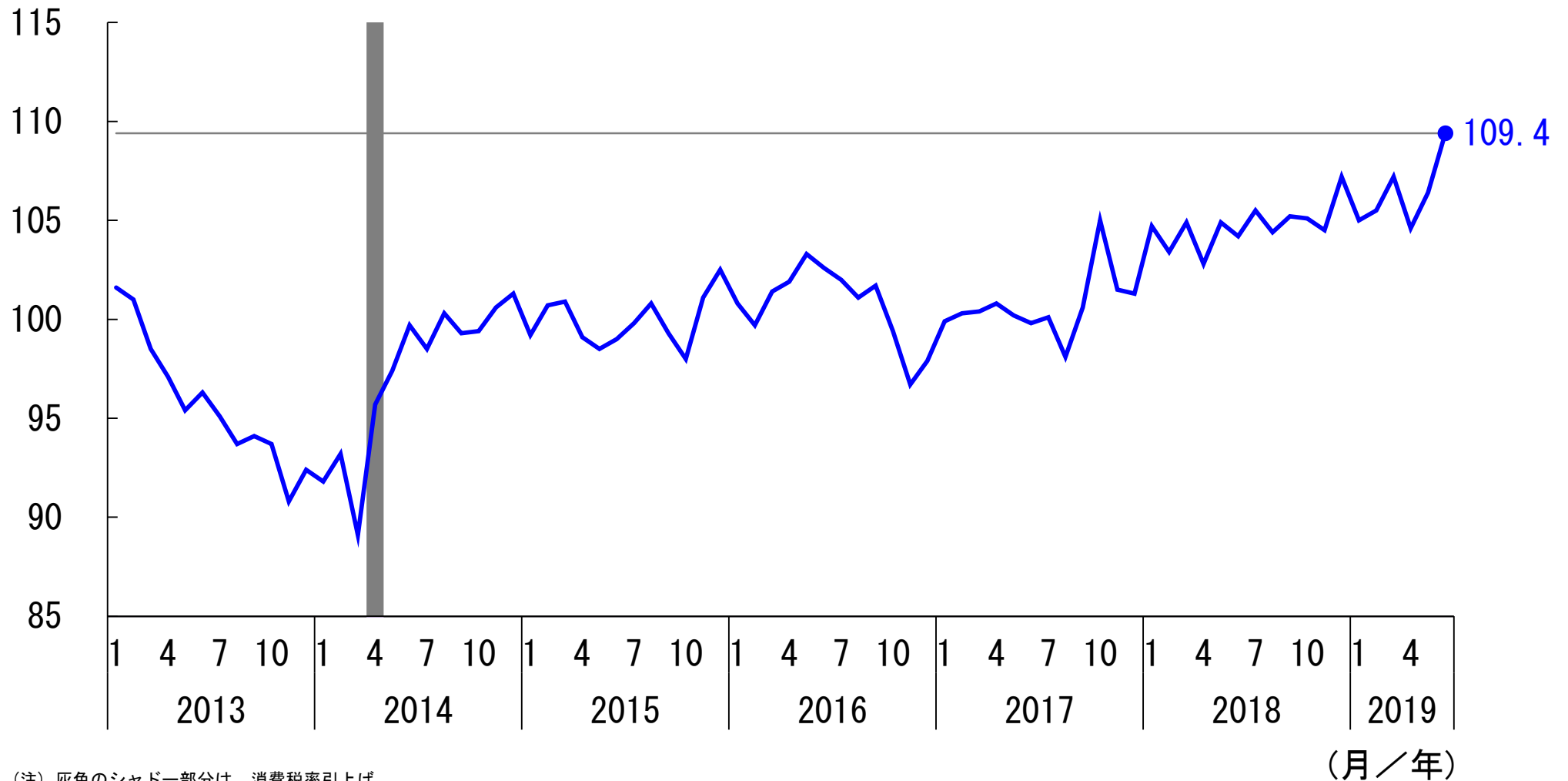


(注) 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋳工業在庫率指数の動向

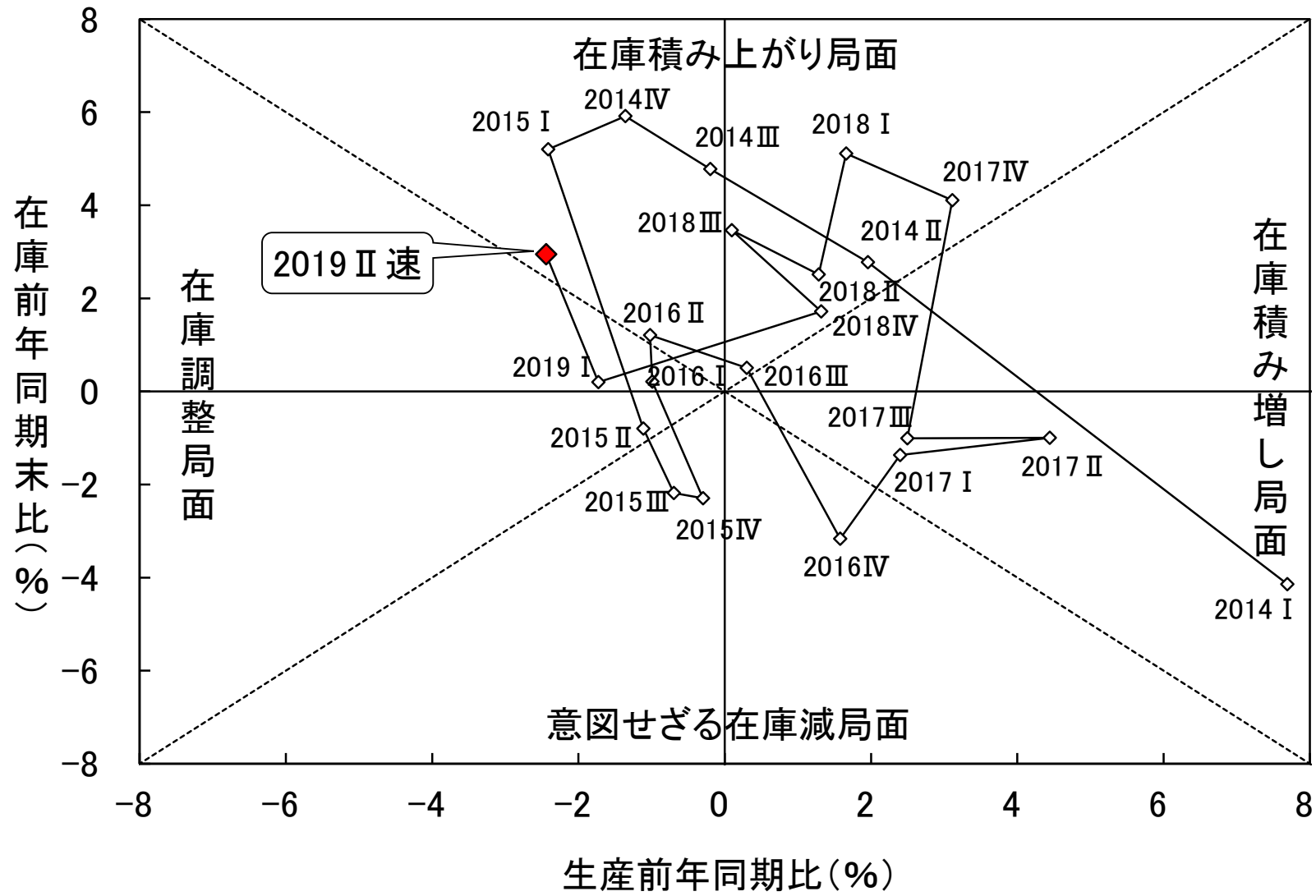
- ・ 2019年6月の在庫率指数は、109.4(前月比2.8%)と2か月連続の上昇。
- ・ 2015年基準での最高水準。

(2015年=100、季節調整済)



(注) 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋳工業の在庫循環図



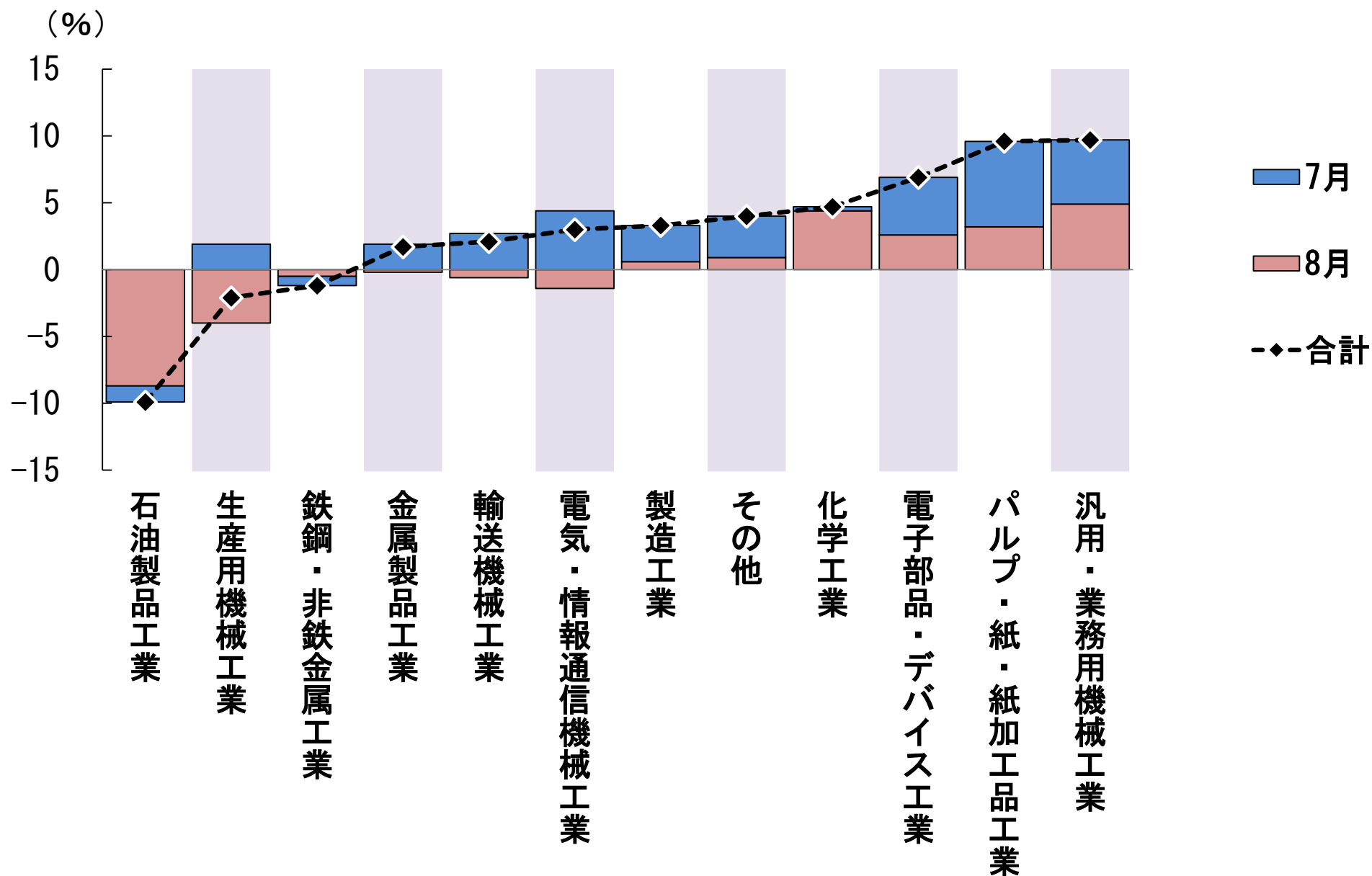
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	2019年7月見込み	2019年8月見込み
2019年7月調査(今回)	2.7%	0.6%
2019年6月調査(前回)	0.3%	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
7月前月比	-0.3% (-1.3%~0.7%)	2.7%

2か月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



2019年7月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
輸送機械工業	2.7%
汎用・業務用機械工業	4.8%
電気・情報通信機械工業	4.4%
電子部品・デバイス工業	4.3%
その他	3.1%
生産用機械工業	1.9%
パルプ・紙・紙加工品工業	6.4%

上昇寄与業種	計画前月比
金属製品工業	1.9%
化学工業	0.3%
低下寄与業種	計画前月比
石油製品工業	-1.2%
鉄鋼・非鉄金属工業	-0.7%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2019年8月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
化学工業	4.4%
汎用・業務用機械工業	4.9%
電子部品・デバイス工業	2.6%
パルプ・紙・紙加工品工業	3.2%
その他	0.9%
低下寄与業種	計画前月比
金属製品工業	-0.2%

低下寄与業種	計画前月比
鉄鋼・非鉄金属工業	-0.5%
輸送機械工業	-0.6%
石油製品工業	-8.7%
電気・情報通信機械工業	-1.4%
生産用機械工業	-4.0%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

2019年6月の鉱工業生産の基調判断

「生産は一進一退」

基調判断の推移

- ・2015年8月 「生産は弱含み」
- ・2015年9月～2016年5月 「生産は一進一退」
- ・2016年6月、7月 「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・2016年8月～10月 「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・2016年11月～2017年10月 「生産は持ち直しの動き」
- ・2017年11月～2017年12月 「生産は持ち直している」
- ・2018年1月～6月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2018年7月～9月 「生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる」
- ・2018年10月～12月 「生産は緩やかな持ち直し」
- ・2019年1月、2月 「生産は足踏みをしている」
- ・2019年3月 「生産はこのところ弱含み」
- ・2019年4月～ 「生産は一進一退」

2019年4～6月期(速報)各指数の状況 生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	102.9	102.4	104.6	106.8
前期比	0.5%	1.2%	0.8%	0.8%
指数水準	2018Ⅳ 105.0以来 Ⅰ 2018Ⅳ 105.0 Ⅱ 2017Ⅳ 104.4 Ⅲ 2018Ⅱ 104.3	2018Ⅳ 103.4以来 Ⅰ 2014Ⅰ 104.5 Ⅱ 2018Ⅱ 103.6 Ⅲ 2018Ⅳ 103.4	2015年基準最高水準 Ⅰ 2019Ⅱ 104.6 Ⅱ 2019Ⅰ 103.8 Ⅲ 2018Ⅰ 103.6	2015年基準最高水準 Ⅰ 2019Ⅱ 106.8 Ⅱ 2019Ⅰ 105.9 Ⅲ 2018Ⅳ 105.6
前期比の動き	2期ぶり+ (2018Ⅳ以来)	2期ぶり+ (2018Ⅳ以来)	4期連続+ (2018Ⅲ～当期)	4期連続+ (2018Ⅲ～当期)
前期比幅	2018Ⅳ 1.4%以来 Ⅰ 2013Ⅱ 2.2% Ⅱ 2014Ⅰ 2.0% Ⅲ 2013Ⅲ, 2017Ⅱ 1.9%	2018Ⅱ 1.4%以来 Ⅰ 2013Ⅱ 2.0% Ⅱ 2016Ⅳ 1.7% Ⅲ 2014Ⅰ, 2017Ⅱ 1.6%	2019Ⅰ 0.9%以来 Ⅰ 2014Ⅱ 4.7% Ⅱ 2018Ⅰ 2.5% Ⅲ 2017Ⅰ, Ⅳ 2.0%	2018Ⅲ 1.0%以来 Ⅰ 2014Ⅱ 6.8% Ⅱ 2017Ⅳ 3.0% Ⅲ 2017Ⅰ 2.2%
前年同期比(原指数)	-2.4%(99.9)	-2.5%(98.1)	2.9%(104.9)	4.3%(110.1)
前年同期比の動き	2期連続- (2019Ⅰ～当期)	2期連続- (2019Ⅰ～当期)	7期連続+ (2017Ⅳ～当期)	7期連続+ (2017Ⅳ～当期)
前年同期比幅	2015年基準最低水準 ① 2015Ⅰ, 2019Ⅱ -2.4% ② 2019Ⅰ -1.7% ③ 2014Ⅳ -1.4%	2015Ⅰ -2.9%以来 ① 2015Ⅰ -2.9% ② 2019Ⅱ -2.5% ③ 2014Ⅳ -2.3%	2018Ⅲ 3.5%以来 Ⅰ 2014Ⅳ 5.9% Ⅱ 2015Ⅰ 5.2% Ⅲ 2018Ⅰ 5.1%	2018Ⅲ 5.0%以来 Ⅰ 2014Ⅳ 9.2% Ⅱ 2015Ⅰ 8.9% Ⅲ 2014Ⅲ 5.7%

1) Ⅰ～Ⅲは2015年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鉱工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 2019年4-6月期の生産指数は、汎用・業務用機械工業等が低下したものの、輸送機械工業や電気・情報通信機械工業等が上昇したため、前期比0.5%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

